

2023年度 第1回(臨時)理事会議事録

日 時 2023年5月7日 19:00～

場 所 WEBミーティング

〈出席者〉

林(会長/大島HP),加藤木(副会長/前橋保健所),鎌塚(上毛HP/副会長),中嶋(代議員/県立精神医療センター),福永(ケ・クリニック),佐藤(田中HP),片山(アルカディア),中島(高崎社協),永尾(赤城高原HP),小林(あぜりあホーム),天笠(監事/三枚橋HP),狩野(事務局長/田中HP),原島(事務局/田中HP),藤井(事務局/田中HP)

〈林会長挨拶〉

GWの最後に申し訳ありません。明日から業務で大変かと思いますが、よろしくお願い致します。今日の臨時理事会の目的としては、今年度の総会に関連したものがメインになります。全国大会に合わせて理事の皆様には任期を伸ばしてもらいましたが、今年度で終わりになるということで皆さまお疲れ様でした。それともう1年どうぞよろしくお願い致します。

1. 事務局報告

- 第7回理事会の振り返り
省略
- 新規入会者について
臨時理事会のため省略
- 2022年度会費納付状況
251人中230名の方が納入。納入率91、6%。
更新届は251人中140人が提出。提出率55、8%。退会届も遅かったりと、届け出関係が上手く機能していない印象。
→更新届の対応について今年度検討していく。
- 精神保健福祉士協会関連：厚生労働大臣表彰
以前奈良大会で表彰を受けた時は旅費が精神保健福祉士協会から出たが、今年度は旅費が出せないとのこと。当会でも予算立て難しいため、送っていただくこととなる。表彰を受けたことを周知して、会員皆さまの励みにしたい。
- こころの健康センター 自殺予防対策 委託事業者の選定委員派遣依頼
こころの健康センターからの依頼で、自殺対策予防対策での相談をやることになっている。委託先の事業所が数か所あり、その事業所のプレゼンを開催するというので今月末にこころの健康センターで各事業所に集まってもらう予定。選定委員に群大の福田先生、こころせの佐藤先生、心理士会の会長、林会長の4人となっている。
- 第3回時計台メンタルヘルスクリニック研修会 講師依頼
今年度の事業。1、2年目の臨床心理士に対し、基幹研修のようなイメージで講師を担当する。
- 新型コロナウイルス対策本部の解散について
当会の新型コロナウイルス対策として、対応について共有する目的で設置した。特に一人職場の会員さん向けだったり情報不足にならないように。明日で5類に変更となるので本理事会をもって解散としたい。

→理事より賛成多数ということで解散とする。

2、日本精神保健福祉士協会関連

・感謝状の授与について

4月23日支部長・事務局会議にて全国大会の感謝状を林会長が授与。支部長が会場に10人程いて田村会長から手渡しされた。原本は事務局に届いており、後ほどTwitterやFacebookで皆様にもお知らせしようと思っている。これで一通り全国大会の区切りがついたというところ。

・支部長会議報告

林会長と事務局の原島さんが全国大会のお礼も含めて参加。内容のほとんどが滝山病院の事件を踏まえての研修会。精神医療審査会の実態を話し合われた。精神保健福祉士はあまり声を出さないのではないかという都道府県もあった。ベテランの精神保健福祉士が膨大なスライドを作成して講義。医療保護入院も国連の障害者条約から見ると、それに適っていないのではないかということ、それに伴って色んな社会的な制限があるし、精神衛生法の時代から実態が変わっていないのではということ。精神保健福祉士が今後こういった動きをとっていかかが重要である。

審査会の委員に精神保健福祉士が必要ないのではないかという声が上がったのが衝撃的であった。そういった人たちがどのような活動をしていて、どのような困りごとがあるのか全く分からないし、審査員の横のつながりがどうなっているかもわからない。

審査会後のグループワークでは事務局長のグループに参加した。県士会から派遣した人たちからの報告を受けていないのがほとんどで、何らかのフィードバックをもらって、どのような活動を行っているか把握しておく必要があるとの話があった。

課題として思うのは、退院請求があった場合でも退院につながったケースが一つもないこと。原因のほとんどは病状が落ち着かないこと。違った治療アプローチがソーシャルワーカー等から提案できるような取り組みがあれば、退院につながることもあるのではないか。栃木や茨城の支部長さんたちと話をし精神医療審査会の3支部の皆さんが意見交換できる場があってもいいのではと話があったので、機会があればそうしていきたい。

色々な会議に当会の会員が派遣されているので、その報告も随時皆で共有して政策や課題を共有していくことが会として必要。

生涯研修制度が新たに設置される。WEBで参加した研修に加算で点数を重ねて何単位取らなくてはいけないような形の生涯研修制度に変わっていく。

研修制度の動画（17分程度のもの）を総会で流して欲しいとの依頼。

3、各委員会からの報告事項

省略（定例会にて報告を）

4、ソーシャルワーカー連盟について

3団体の会長、副会長の会議で今年度ソーシャルワーカー連盟を設立したいということで話し合いが行われている。現段階での規約については総会の資料に添付してあるので確認して欲しい。今後詰めていく必要あるが、3団体とも総会にて会員の皆様に承認を得ておく必要があるだろうと認識している。3つの事業を災害関係、権利擁護、広報を柱に活動していく。今年度連盟用の予算は立てないことになっている。3団体の幹事団体は持ち回り。今年度は当会が幹事団体となっている。

5、2022年度総会議案書の確認

【会場について】

日程は6月9日。前橋市の総合福祉会館がいいかと思われる。校舎総合ビルは1時間当たりの金額が高い。新前橋は1か月前でないと確認がとれない。

→前橋の総合福祉会館の借りられる部屋で、部屋選択は事務局に任せる。

【事務局】

- チャットワークの有料化プランを利用させていただくということを記載した。1名領収書の提出がなかったため、7名を6名に修正。
- 事業の報告者の記載が空白になっているので、その事業の担当理事には当日会場にて報告して頂ける方を決めてもらいたい。
→10日の夕方までに担当者を事務局へ報告。
- 全国大会の会計部分。(1)(2)については実際の動いた全体のお金、(3)が全体の収支、(4)が今年度に限った執行の金額となる。
- 決算書の関係で収入のある事業がいくつかあった。事業ごとに事業の中の収支で決算していただいたパターンと、会の収入として取り扱っているパターンが混ざってしまっていた。結果的に事業の中で収入があったものに関しては会の収入として計上させていただいた方がしっくりくるのでそう対応した。幹事への確認は9日に天笠さん、10日に池田さんに時間をとってもらっている。領収書と合わせて確認をしてもらう。

2023年度議案書

【事務局】

- SNSや情報共有ツールを事務局で調べる話であったが、実際には新規開拓は出来なくて、必要な方にチャットワークの有料化というところで話が落ち着いた。
- 理事を選出する年度。
- 新型コロナウイルス対策本部の解散。政府の対策本部が解散されるのでそれに合わせて当会の本部も解散する。
- 定例会の部分。全部で5回の開催回数。開催方法について検討しなかったため今年度はどう開催するか？
ブロック活動は継続して開催していくのか？
(定例会について)
→基本は集合型だが、状況によってはzoomでよい。
→状況に応じて開催方法検討する。原則対面でよい。
→原則対面で状況に応じてオンライン。
(ブロック活動について)
→そろそろ対面での研修を繰り返しやりながら、新しい会員さんと話す機会が増えてくるかと思うので、飲み会やブロックの活動も都度検討できれば。今すぐやりましょうとは言えないので状況に合わせて。
→北部は人数が少ないので中々集まりにくい。
→飲み会の機会があればやればよいと思う。
→ブロック活動は継続していく。
- 来年度の事業の担当理事は変更なしでよいか？
→よい。

【全国大会の運営委員の派遣事業について】

打ち上げと運営委員の派遣事業が残っている形になっているが、打ち上げを予算化するにあたり、事業として組み込む必要がある。派遣事業の中に打ち上げ会の事業と派遣事業の2つ盛り込む形にしてある。事業対象者として派遣事業で対象となるのは群馬大会運営委員会の方。そして打ち上げ事業は群馬大会運営委員会と運営委員協力員とボランティア参加者とさせていただいている。新規の事業となるので派遣事業として担当するのが原島、狩野。打ち上げ事業として幹事の福永、原島を事業担当者として名前を挙げている。新規の事業で担当理事を置いた方がいいと思ったので、林会長の名前を担当理事として挙げさせていただいた。

事業の中身は変わらないが、表現の方法がこの事業の中に2つの事業があるよという形になっている。

【自殺対策】

予算について県社協の助成金が使えることがわかり、申請をすすめているが、開催規模が縮小している。年6回の相談会に4名相談員を派遣する計画を立ててスタートしたが、司法書士会との相談が煮詰まっていないう状況もあり、1回の相談人数を4名から2名に変更することになった。24万円の計画が半分の12万円。助成金当初は16万円を交付申請していたが、補助額が総事業費の3分の2までしか出ないということだったので、8万円になる見込みとなった。委員会としては林、狩野。相談員としては今後会員さんに募集をかける状況。

【その他】

- SNSの活用で全会員を含めたものが利用出来たらいいかなと思う。ツールを見極める必要がある。
 - 社会福祉士会がラインワークスを使っている。使い勝手が良くて値段が無料。チャットワークよりラインの方が慣れている。
 - 据え置いている理事手当について見直したいかいかがか？
- 今年度はこのまま。来年度見直す形でよいかと思う。

<文責：藤井>